

平成19年



神奈川病院 広報誌

神奈川病院だより

第18号



独立行政法人 神奈川病院の理念 国立病院機構

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。

神奈川病院長 市来寄 潔

明けましておめでとうございます。

日頃から神奈川病院をお引き立ていただき誠にありがとうございます。一昨年から神奈川病院の存在が秦野市民の中に浸透して行くことを願って、市民公開講座を行ってまいりました。昨年は3回開催いたしました。毎回60人を越える多くの皆様にお集まりいただきました。病院としては大変嬉しいことで、今後も会場や内容に工夫を加えながら続けて行きたいと思っています。

平成18年には、神奈川病院にとって幾つかの大きな出来事がありました。

一つ目は、皆様には直接関わりがないのかもしれませんが、障害者自立支援法の施行で、今までの重症心身障害児（者）の医療が大きく様変わりしました。病院にとっては非常に大きな変化で、まだまだ対応が十分ではありませんが、法の主旨を理解して着実に運営して行きたいと思っております。

二つ目は、本院のIT化の一環としての予約システムの導入です。イントラネットを構築して従来からの紙ベースの診療予約をコンピュータ化しました。10月、11月とかなりのご迷惑をお掛けいたしました。12月に入って少しずつ受付周りの混乱も少なくなっております。皆様のご協力に感謝いたします。診療待ち時間の短縮に関しても、少しずつ効果が現れてきており診療の遅れが徐々に少なくなっております。近いうちに診療予約を電話でお取り頂ける体制も何とか実現したいと考えております。今年中にはIT化をもう一歩進めて診療の効率化を図りたいと思っております。

三つ目は、念願のMRIが10月より稼動したことです。今までは必要な時に他院に検査に行ってしまうことがありましたが、今後は本院であまり待つことなく検査することが出来るようになりました。整形外科領域・中枢神経領域の診療に大きな力となってくれるのではないかと思います。従来診療が不可能であった急性期の脳卒中などが診療できるようになり、また久方ぶりの大型診療機器の導入で、病院内の雰囲気少し明るくなった気がしております。

今年は地域の皆様の医療へのニーズに迅速に対応できるよう体制を整えたいと思っておりますので、忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

平成19年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念いたしております。



外来採血室が綺麗になりました！

今まで外来検査室の片隅で行っていた採血場所を改修工事して、広くなりました。また、新たに採血台、パーテーション等を整備して、患者様が安心して採血を受けられる環境となりました。採血室では、患者様に必ずフルネームで名乗っていただき、患者誤認が無いよう注意しています。採血室の業務は、看護部と検査科が協力して行っています。これからも患者様を中心とした環境に努力して参りたいと思っています。



検査結果参照・予約システムが 10月から稼働しました。

将来のオーダリング・電子カルテを見据えたシステムとして、院内各部署にコンピューターが設置され、10月から結果参照・予約システムを職員一丸となってスタートする事ができました。

検査結果の報告はペーパーレスとなり、医師は各ブースで患者様の検査結果をリアルタイムに画面を見ながら診療ができます。過去の検査結果も簡単に画面で確認でき、その場で印刷して患者様に情報提供できるようになりました。また、次回の来院予約や検査予約も画面から登録出来ます。

患者様は、次回来院して受付を済ませた後、予約表に添って検査や各診療科の受診となります。本システム稼働により、患者様の待ち時間も短縮され効率良く対応できるようになりました。引き続きよりよい診療を目指し、次期システムに取り組んでいきたいと思っています。



第4回市民公開講座 脳卒中を防ぐためには？

—注意すべき兆候と必要な検査・治療法について—

脳神経外科医長 齋藤 良一

12月12日に第4回市民公開講座が開催されました。雨の中、大勢の市民の方々が参加してくださり皆様の関心の高さを感じとることができました。脳卒中は心臓病、がんとともに三大死因に数えられています。また脳卒中は一度発症すると後遺症が生じてしまうことが多くまだ満足のいく治療成績が得られていません。そこで脳卒中の予防が重要視されていますが近年その予防法がかなり進歩してきました。脳卒中といっても脳梗塞、くも膜下出血、脳内出血に分類されます。それぞれの病気の前兆や危険因子について説明し前兆を見逃さないこと、放置しないこと、また危険因子の対策を講じておく必要性についてスライドを用いて講演しました。ちなみに以下に脳卒中一般の予防のための注意事項を掲げます。今回と公開講座を通して皆様のお役に少しでも立つことができましたら幸いです。

脳卒中一般の予防のために：

高血圧対策をする。前兆かなと思ったら放置しないで受診する。

禁煙する。多量の飲酒を避ける。

糖尿病に注意する、治療を受ける。

高脂血症に注意する、必要なら内服薬。

不整脈（心房細動）に注意する、見つかれば循環器受診。

肥満、運動不足を解消する。



秦野市「市民の日」に参加して

研究検査課 樋口久晃

今年も11月3日（金）、中央運動公園を中心にイベントが開催され、パレードやショータイム、大抽選会など盛りだくさんに行われました。その中に国立病院機構神奈川病院、研究検査科として肺活量測定を実施することとなり、大盛況の中、放射線科副技師長、検査科技師長、看護師の協力を得て201名の測定を実施しました。市民とのふれあい、他部門とのコミュニケーションがとれ、充実した一日が過ごせました。

薬局 鈴木康二郎

薬局では「お薬相談」と「血糖値測定」に参加しました。本業の相談はあまり件数が伸びませんでした。場所柄こういうものではないでしょうか。血糖値測定は手伝いをして昨年度以上の件数を上げることが出来ました。健康な市民の方も血糖値測定の体験を通じて糖尿病に関心を持って頂ければありがたいと思います。

栄養管理室 越後 朋彦

小春日和の晴天の中、市民の日が開催されました。

今年初めて参加させていただいたのですが、想像以上の人々の賑わいに驚かされました。

栄養相談では、肥満や骨粗鬆症に関する相談が多いものでした。

今回は秦野市民の方々の直の声が聞けて有意義な一日となり、来年も是非また参加したいと思います。



院内教育研究学会

「神奈川病院の将来」 先ず出来ることから始めよう

庶務班長 仲田浩二

12月8日（金）第25回院内教育研究学会を開催いたしました。

この学会は、院内の教育、研究の進捗発達を図り、医療の言及普及発展に貢献することを目的として、昭和56年から始まり今年で25年目を迎えました。

中期計画の3年目も終わりに近づき、職員一人一人が、神奈川病院の将来を考えた時、「先ず、なにをすべきか、出来ることから始めなくては始まらない。」をテーマに各職場から23題が発表されました。

ふだんは、あまり交流のない？職員が、病院経営、業務改善、患者サービスなどについていろいろな角度からの神奈川病院の将来について発表され、予定していた発表時間（質疑応答を含め）を殆どの演題でオーバーするなどかなり内容の濃い研究会となり、各職員が現在、病院の置かれている状況を理解し、将来に向けて真剣な取り組みを行っていることが再認識でき有意義な時間を過ごすことができました。

来年以降も続くであろう、いや、続けて行かなければならないこの「研究会」を次回も楽しみにしたいと思います。



重症心身障害児(者)病棟お楽しみ会

療育指導室 伊藤育子

12月1日に重症心身障害児(者)病棟の「お楽しみ会」が行われました。「お楽しみ会」は、今年一年の締めくくりとして、家族や職員と楽しい時間を過ごすことを目的として行いました。昨年はバイオリンの生演奏がありましたが、今年はサックスの生演奏で、楽しんでもらいました。

初めは、あまり聞き慣れないサックスの音に驚いた利用者もいましたが、「ルパン三世」の軽快な曲や「水戸黄門」など知っている曲、好きな曲が流れると、笑顔になり、中には身体を動かし踊っている利用者もいました。演歌のときには、ミラーボールが回りライトアップした会場に、ムード漂うサックスの音色と親御さんと職員のデュエットが聴かれ、酔いしれた様子の利用者もいました。

その他、サックスの音で「名前当てクイズ」をしたり、秦野養護学校の先生と職員と一緒に「ボディーパーカッション」で楽しみました。「名前当てクイズ」では、手作りの景品付きだったせいか、皆さんいち早く手を挙げ、積極的に答えていました。

「ボディーパーカッション」は、アンコールが出るほど盛況でしたが、日々の熱の入った練習であざだらけで本番を迎えたので、アンコールに応えられませんでした。それでも、その熱意に大きな拍手が聞かれました。

最後は、クリスマスメドレーでサックスに合わせ、会場のみんなで鈴やタンバリンを鳴らしたり、歌を歌って少し早いクリスマスを楽しみながら会が終わりました。

残念ながら会場に来られない利用者には、病棟のベッドサイドでリクエストした曲をサックスで演奏してもらい、穏やかな表情や気持ちよさそうに目を閉じて聴いていました。午後だけの時間でしたが、皆さんに満足してもらえた「お楽しみ会」でした。こうして一年を締めくくることができました。本年もいい年になりそうですね。



第11回神奈川県看護学生のつどい 研究発表会を終えて

去る10月11日（金）小田原市民会館で西部支部の神奈川県看護学生のつどい研究発表会が盛大に開催されました。当日は神奈川県看護協会会長の平澤敏子様（ひらさわ みのり）の祝辞に始まり、平塚共済病院の米田昭子先生（よねだ てるこ）の基調講演がありました。今年のテーマは「看護倫理 自己決定の権利を擁護する」でした。当校もシンポジストとして3年生の鳩貝今日子（とびがい 今日子）さんが発表しました。発表を終えての感想とつどいに参加しての感想を紹介いたします。

「人権を擁護する」という発表を通して

シンポジスト：28回生 鳩貝今日子

今回の看護学生のつどいの発表を通して、相手に伝わるような文章の書き方の難しさを実感するとともに、人権を擁護することについても考える機会となり、人権とはとても奥の深いものだと再確認することが出来ました。実際の発表の時は、緊張し、他のシンポジストの発表を聞く余裕はなかったのですが、発表以前に集まった時に大まかな内容を聞くなどしていました。その中で、他者の意見を聞き、自分の意志決定を他者である家族や医療従事者に託す事も、患者の一つの自己決定になる事を学ぶことが出来ました。

できれば避けなかったシンポジストという役割でしたが、事前の打ち合わせ会で集まり、意見交換を重ねるうちに同じシンポジストとしての連帯感が生まれ、看護師を目指す新しい仲間が出来ました。私にとって貴重な体験となりました。

患者と家族への自己決定権

28回生 鈴木 緑

つどいに参加して、患者と家族の意思と選択を尊重するとともに対象となる人々の知る権利及び自己決定の権利を擁護するために十分な情報を得る機会や決定する機会を持つように努める必要があると思いました。また、自己の判断に基づき決定するために、十分な情報を得て、その内容を理解し受け入れていくことへの支援が不可欠であります。そのためには、対象の理解度や意向を把握して内容が理解できるように確認しながら説明し、質問や意思表示をしやすい場づくりの調整を行い、他の保健医療福祉関係者への働きかけをして権利の擁護者としても行動していかなければなりません。そして、自分自身で選択することが出来るように励ましたり、支えたりする働きかけを行い個人の判断や選択が、その人にとって最良のものとなるように援助を行い、患者の「知らされない権利」、「意思決定を家族に委ねる権利」も含めて、患者の意思が最も尊重されるような環境をつくっていきたいです。



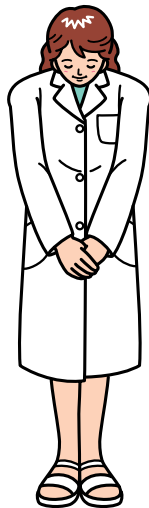
渡辺医師（小児科・アレルギー科） 外来休診のご案内

3/1（木）～5/31（木）

渡辺医師出産のため外来を休診させていただきます。

代診医師が外来を担当いたしますが、混雑が予想されますので、症状の安定している患者様は薬を多めに処方、もしくは近医開業の先生に一時処方をお願いしたいと存じます。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

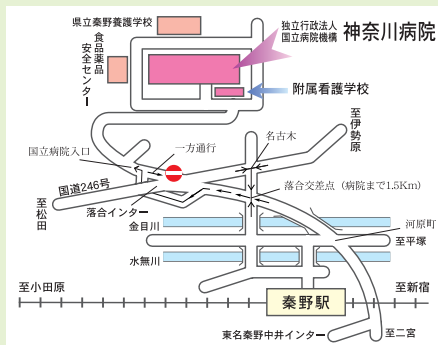
6月からの外来につきましては
5月半ば以降病院にお問い合わせください



各科診療担当医表 平成19年1月4日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金
一般外来	総合内科	松岡 齋藤(真)	前島	松岡	前島	松岡
	腎臓内科		前島		前島	
	循環器内科	亀崎	吉田	松崎(秀)	亀崎	吉田
	呼吸器内科	大久保	西海 <small>(予約または紹介状持参のみ)</small>	西海	布施川	大久保
	消化器内科	齋藤(真)				
	リウマチ内科	松岡		松岡		松岡
	神経内科			森田		大友
	心療内科	松崎(淳)	松崎(淳) <small>(予約のみ)</small>	松崎(淳)		松崎(淳)
	精神科					
	小児科	渡辺 <small>10:00~</small>	若山	萬木	渡辺	萬木
	アレルギー科 (小児)	渡辺 <small>13:30~15:30(予約のみ)</small>	若山	渡辺 <small>午後 第2・4予約診療 第1・3予約外来</small>	渡辺	萬木
	外科	櫻井	当番制	徳原	当番制	櫻井 井水 <small>(午後予約のみ)</small>
	消化器外科	櫻井		徳原		櫻井
	呼吸器外科	加勢田		加勢田 <small>(予約のみ)</small>		加勢田 柿崎
脳神経外科		齊藤(良)			市末 寄	
整形外科	草山 山本 <small>1/15・1/29・2/5・ 2/19・3/5・3/19 山川</small>	山川 高見澤	草山 (武石) <small>整形外科</small>	予約のみ	武石 高見澤	
リウマチ外科	草山	山川	草山		武石	
泌尿器科		金尾			田野口	
皮膚科			横山			
特殊外来	小児科(肥満)		若山			
成育心身医療科	松崎(淳)	松崎(淳) <small>(予約のみ)</small>	松崎(淳)		松崎(淳)	

案内図



小田急線「秦野駅」下車
神奈川中バス④番乗場
「国立神奈川病院」行
終点(所要時間約15分)

※車利用
東名高速道路「秦野中井」
より約10分

◎矢印の方向へお進み下さい。
●は進入出来ません。

編集後記

明けましておめでとうございます。
本年も神奈川病院だよりを皆様にご覧いただけるようスタッフ一同頑張っておりますのでよろしくお願い致します。

編集担当者

統括責任者：市末 寄 潔
発行責任者：加勢田 静
編集責任者：三浦 正明
編 集：高橋 三恵
伊藤 育子

鈴木 英美
益子 正美
菅橋紀美子

越後 朋彦
高橋美喜子